



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
 OSAKA, JAPAN

May 2004 No.11
 Chartered July 20, 1982

主題 Y'S THEME (2003~2004)

クラブ会長：『個性を認めて共に前進』
 国際会長：“Be Agents of Change”『変革の担い手となろう』
 アジア会長：“New thinking, New Action”
 『新たな思考で、新たな行動を！』
 西日本区理事：『未来に架ける橋』
 中西部長：『分ち合い 共に歩むワイズ』

クラブ役員 Officers

会長：谷川 俊一
 副会長：松浦 孝次
 //：石津 雅人
 書記：山田 孝彦(主)
 //：栗山 佳三
 会計：三浦 直之(主)
 //：鎌田 史朗
 幹事会長：松浦 和子
 Y連絡職員：浜野 昌保

月間強調テーマ：『LT』

㊦㊦㊦ 5月の聖句 ㊦㊦㊦
 【 Biblical Message of May 】

木とその実

「木が良ければその実も良いとし、木が悪ければその実も悪しとしなさい。木の良し悪しは、その結ぶ実で分かる。瓠の子らよ、あなたたちは悪い人間であるのに、どうして良いことが言えようか。人の口からは、心にあふれていることが出て来るのである。善い人は、良いものを入れた倉から良いものを取り出し、悪い人は、悪いものを入れた倉から悪いものを取り出して来る。言っておくが、人は自分の話したつまらない言葉について必ず、裁きの日には責任を問われる。あなたは、自分の言葉によって善とされ、また、自分の言葉によって罪ある者とされる。」

(マタイによる福音書 12章33~37節)

㊦㊦㊦ 5月の例会 ㊦㊦㊦
 【 May Club Meeting 】

○ 5月第1例会 “デファレンスデイ”
 日時：2004年5月22日(土)14:00~16:30
 場所：大阪YMCA土佐堀館 3階302号室

- 司会 藤原 正巳君
 1. 開会点鐘 谷川 俊一 会長
 2. ワイズソング 一同
 3. ゲスト紹介 司会者
 4. 講師紹介 中村 茂高君
 5. 聖句朗読 田中 穰二君
 6. ゲストスピーチ

「私のルーツ - インド、そして私が見た日本」
 アダルシュ・シャルマ氏 (ならNPOプラザ講師)

「異文化ワークショップ」

- 仲川 順子氏 (ならNPOプラザ 代表)
 7. インフォメーション 各担当
 8. お誕生日祝い・ニコニコ献金 一同
 9. 閉会点鐘 谷川 俊一 会長

○ 5月第2例会
 日時：2004年5月26日(水) 18:30~20:30
 場所：大阪YMCA土佐堀館9階

*5月例会当番 3班(藤原、石津、黒田、田中)
 *5月お誕生日 Happy Birthday!
 隅田君 3日、鎌田君 8日

㊦㊦㊦ Attention Please ㊦㊦㊦

- 5月22日(土)午後2時~4時半に、デファレンスデイ行事をもちます(YMCA土佐堀館3階302号室)。飲み物、資料代として500円。なお、5月の定例会になります(5月19日(水)に会合はありません)。お間違いありませんように。
 ○ ゲストスピーカーのアダルシュ・シャルマさんは、インド・パンジャブ州出身、1979年来日。仲川順子さんが代表の「ならNPOプラザ」を舞台に、日印両国の国際理解を進める活動をしておられます。

【クラブ統計 Statistics】 下欄()は、うち 広義会員を表わす

2004年5月	種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 21(1)名	メン	14(1)名	11名	4月：切手 440 gr.	4月：14,500 円
例会出席 18(1)名	メネット	4名	名	現金 2,500円	(03年7月~04年4月の)
うちメークアップ 4名	ビジター	2名	名	(03年7月~04年4月の)	累計：292,500 円
	ゲスト	1名	名	累計：切手 5,594 gr.	(除く、クリスマス献金
出席率 85.0%	合計	21名	11名	現金 21,500 円	オークション、記念献金)

⇒ 今月の聖句に寄せて ⇒

「裁きの日」とは、聖書では、十字架にかけられ、いったん死んだイエスが、神の意志で甦り、世の終わりの時に再び現れて善人と悪人を裁き天国に送るかどうかが決めるという「終末思想」があります。

これはキリスト教では極めて意義の深い思想です。従って、人はその全人生における「生き方」が常に問われているという厳しい心のあり方が要求されております。

私は、以前に、「語る者は木に書き、聞く者は石に刻む」という諺を聞いたことがあります。これはキリスト教とは関係がありませんが、無意識に口にした言葉が、知らぬまに、相手を深く傷つけていることがあるという警告です。何か今月の聖句に通じるものを感ずるように思います。

(聖句選 コメント：黒田 戦之)

4月 第1例会

【Report of the April Club Meeting】

(4月21日(水) 18:30~20:30 東洋ホテル)

フリテン：松浦 孝次

- 今月例会も、3月に続いて気温が平年を大幅に上回る日でした。どうなってんのかな？

ゲストにト田啓三さん(豊中クラブ)、山中秀男・ちあき夫妻(東京ワイズメンズクラブ、当クラブ初代会長)を迎え、わがクラブからはメン14人、メネット4人が出席して開きました。

- 谷川俊一会長みずからの司会、栗山佳三メンが聖句の朗読、新保正秋メンから今月のテーマ「YMCA サービス/ASF」について解説がありました。「ASF」は、アレキサンダー奨学資金のこと。

- ゲストスピーカーのト田 啓三さんから、昨年12月、大阪 YMCA からのミャンマー・スタディツアーに、7人のメンバーの団長として訪問された話を聴きました。わがクラブからの支援金(03年度10万円)を、ヤンゴンとマンダレーのYMCAに届けていただきました。

ト田さんたちは、まずマンダレーYMCAに赴き、いくつかのディケアセンター(子どもたちを養育する施設)を訪問し子どもたちと交流、一諸にクリスマスを楽しんだ。シュエ・シュエ・マーさんとの再会、マンダレーY役員の家での夕食パーティでの出来事、ついで首都ヤンゴンでミャンマーYMCA 同盟などを訪問したことが紹介されました。

また 低所得層が住むラインターヤ地区を見学し、ヤンゴンの素晴らしく豪華なパゴダとの格差に驚いたこと。軍政、入国審査の実態、ミャンマーの通貨「チャット」の実質交換レートの低さなど、ミャンマーが抱える問題の一端をレポートされました。

♂



(4月第1例会 — ゲストスピーカーのト田 啓三さん
ミャンマー訪問を語る)

♂ 余談ながら、7人中5人までが訪問中 腹具合がおかしくなった由、健在の2人は誰々だったのでしょう？、興味がありますね(下世話な関心で失礼)

- 浜野昌保メンから、大阪YMCAの人事異動があったが、氏は変わらずで、わがクラブとの縁はつづくとのこと(われわれもほっとしました・・・)。

谷川 寛メンから、元香港・ボヒニアクラブ会員のベティ・ライ夫妻が来阪され有志で懇親会をもったこと(第3面に記事)。中村茂高メンから、5月22日沖縄のセイヤー校長が来阪されることの紹介があった。

「関西ののちの電話」での奉仕

メネット会長 松浦 和子

「のちの電話」機関紙(2~3月ごと)の発送作業を、クラブのメネット、メンの有志で奉仕しています。

4月19日(月)、大阪市十三の聖蹟主教会の隣にある「博愛社」で、山田・栗山メン、隅田・中村幸枝・松浦メネットが、10時から15時まで、発送の奉仕をしました。なかなか根気のいる大変な作業ですが、作業しながら映画、旅行やグルメの話をはじめ、いろいろな情報交換をして、楽しくやるように努めています。

センテニアルの有志だけでやっていますので、人数も限られています。願わくは、できるだけ多くの人たちが関ってほしいものだと思います。



(「のちの電話」での奉仕の風景)

快晴の29日(みどりの日)10時、総勢18人がJR山科駅前、ワイズメンズクラブの旗のもとに集まり、いよいよ大文字山にむけて出発。山中夫妻(東京ワイズ)、中村茂高メンの咲子コメント(中3)も特別参加。

水流早い琵琶湖疎水を越えて、第1ポイントの「毘沙門堂」に。藤の花が見事な棚の前で、全員揃っての記念写真と山中メンの指導による準備体操。ワイズの旗は、終始隅田メンの手で。さて、登りにかかる。杉木立に、竹藪がづく。残念ながら眺望はきかない。

隅田メネット「錦水亭のたけのこ料理を思い出すわね」
坂本メネット「けど、高いのでちょっとね」
ここで、京都の人 藤原メンから「たけのこより、はもの照焼きがいいね。五条坂と宝ヶ池に、すばらしい湯葉の店があるよ」

両メネットに、松浦メネットも加わり、「ぜひその店で、メネット会をもちましょよ」
(なんで、たけのこが、鮭、そして湯葉に変わったのかな?)

小休止のあと、ひたすら歩き、尾根道に上がりしばらくして466mの大文字山の頂上を征服。ただし、眺望はあまりきかず、登頂の喜びをかみしめ 通過する。
「まだ先かいな」と言っている間に、12時半、大文字送り火の「火床」のある、今日の目的地に到着。

眼下に京の市街地が180度に広がり、「おおっ、すばらしい!」と歓声があがる。沢山の人が登ってきている。吹く風は爽やかで快く、緑が美しい。みんなで弁当をひろげる。

このあと「大」の字の中心ポイント、弘法大師の小さなお堂がある場所で、京の市街地をバックにバチリ。藤原、山中メンから、「あそこは御所、下鴨神社、宝ヶ池・・・」と教えてもらう。

ところで、大文字送り火の起源は、15世紀後半 八代将軍・足利義政のころとか。なぜ「大」の字かは、諸説あるという。

銀閣寺に下り(この下りは1時間ほど)、甘いものを求めての中村茂高ファミリーと別れ、哲学の道を南下。

永観堂、南禅寺の手前で、今回のリーダー・谷川俊一、山中メンは、無事 引率の役目を果たして、どこか?に消えた(いやあ、ホッとされたことでしょう。下見を含めて、お2人 本当にご苦労さまでした)

残った13人は、「辻利の抹茶パフェ」ではなく、「茄蒔ふうじえ」に入って、冷たいものでのを潤したのでした。楽しく、すっきりとリフレッシュした一日でしたね。

○ 参加者は、石津、栗山、坂本、隅田夫妻、谷川俊夫妻、谷川俊一、中村茂高夫妻・咲子嬢、山中、藤原、松浦夫妻、山田、山中夫妻のみなさんでした。(松浦孝次 記)



上から順に(第1ポイント毘沙門堂で、これから登ります)
(大文字送り火の「火床」で、京の市街地をバックに)
(京の街を180度 遥かに見下ろす)
(別れを惜しんで — 永観堂近くの喫茶店のまえで)

The April 21st meeting was held at the Toyo Hotel, Osaka, with a total of 21 Y's men, and Y's menettes and guests in attendance.

We were very happy to see Mr. & Mr. HIDEO YAMANAKA, first president of our club and currently a member of the Tokyo Y's Men's Club among our guests.

The YMCA Service and the P. W. Alexander Scholarship Fund were emphasized for this month. Y's Man MASA AKI SHINPO, chairperson of the program outlined the purpose and objective of the two programs.

The highlight of the meeting was a report made by Y's Man KEIZO SHIMETA, member of the Osaka Toyonaka Y's men's Club and head of the Myanmar study tour of the Osaka YMCA held in last December.

Mr. SHIMETA spoke about recent YMCA activities in Myanmar under the rule of military administration and we were glad to know that our donation to the Yangon and Mandalay YMCAs through the Osaka YMCA would be used to help support the education programme of the underprivileged children.

Y's Man KAN TANIKAWA reported about a welcome dinner to Mrs. BETTY LAI, former member of the Bauhinia Club, who visited Osaka with her husband, Kenneth on March 28th on her way to Hong Kong.

Y's Man SHIGETAKA NAKAMURA also reported about the visit of Ms MIDORI THAYER, principal of the Okinawa AmerAsian school on May 22nd.

旧香港ポヒニア・クラブ会員 来阪！！

— Betty and kenneth Lai 夫妻 —
谷川 寛

古い会員の方は覚えていますか？

隅田会長の時代、神戸でアジア大会がありました。この折、私たちの兄弟クラブ会長を招こうということになり、ポヒニアクラブの会長をやっていた Betty Lai とご主人の Kenneth が来日しました。

その後、私は香港で彼らに何回も会っていますが、最近、ニューヨークに移住しました。今回やっと米国への移住ビザが発行されたため、香港への里帰りに日本経由で来日しました。

成田から、東京、富士山、京都を観光して、関空経由で発ちました。28日夜、大阪リーガ・グランド・ホテルで、隅田メネット、山田夫妻、藤原メンと一緒に会食し、ひさしぶりの再会を楽しみました。

彼らは、是非ニューヨークを訪問してくれるよう、みなさんによろしく、とのことでした。

IBCクラブニュース

IBC・DBC委員長 藤原 正巳

“Bauhinia News” 香港 Bauhinia クラブ・

ブリテンから

○ 4月例会

4月26日に開催。著名な心理学者 Mrs. Heidi Ho をゲスト・スピーカーに迎え、「ストレス管理」と題する講演を聞く予定です。

○ 香港 Chinese YMCA “Lightning Future 2004～2005 Program” に6,000ドル(約8.4万円)を寄贈

このプログラムは、中国本土の恵まれない子供達を支援しようとするプログラムです。♂



(4月28日 Betty and kenneth Lai 夫妻を迎えて
歓迎の懇親会)

★☆☆☆☆☆☆☆☆

♂ “Aloha from Hawaii” ハワイ Nuuanu クラブ・

ブリテンから

○ ヌアヌクラブは5月29日にチャーター40周年を迎えます・・・

具体的な記念行事については目下検討中ですが、新しい人々をワイズダムに呼び込むプログラム”bring a friend night” の実施が、選択肢の一つとして挙げられています。

お知らせ

1. 第7回 西日本区大会

日時：04年6月12日(土)～13日(日)

11日(金)は前夜祭があります。

場所：加賀・山代温泉 ホテル百万石、加賀市文化会館

2. 第7回 中西部会 (第1報)

日時：04年10月2日(土)

○ セレモニー 13:30～15:00

“pia NPO” (大阪市港区築港 地下鉄・大阪港駅西)

○ クルージング 16:00～17:00

大阪港・ハーバービレッジ サンタマリア号

なお、会費は3,500円。ホストは 大阪ヴェクセルクラブ。

3. 大阪千里クラブ 創立30周年 記念祝会

日時：04年6月19日(土) 18:30～

場所：新阪急ホテル 2階 花の間

プログラム：祝会と 演奏会「音登夢」(室内三重奏)

申込は5月末日までに、クラブ会長が一括して、同クラブへ。

4月 BF ニュース

【 Report of the Brotherhood Fund in April 】

BF 委員長：栗山 佳三

◇現金提供者：栗山、山田、中村隆幸君

◇切手提供者：山田、中村隆幸、黒田、松浦、谷川寛、栗山、田中、隅田、三浦君

今月の殊勲賞：山田君 220gr

4月第2例会

【 Report of the April Club Meeting 】

(4月28日(水) 18:30～20:30 大阪YMCA)

1. 5月第1例会プログラム

① 第1面のとおり。デファレンスデイとして、5月22日(土)午後にもつ。

② 予算(講師謝礼・部屋代・資料・飲み物)、中西部への請求(左記の一部)、当日の資料、飲み物などの段取りを検討。

2. 多文化共生子どもサミットについて

8月の「子どもフレンドリーシップキャンプ」計画について、中村茂高メンから企画書の説明があり、検討した。

① 予算250万円の資金調達について。

わがクラブと関西テレビ事業団はそれぞれ100万円。なおボーイング社からの助成50万円は不確定であり、大阪YMCAや、他の助成団体に助成を求める必要がある。

わがクラブの要拠出額100万円は、わがクラブのファンだけでは、なお20万円足りないため、メンバーからの献金をあおぐ。その方法について検討(一口5,000円とかで)。

② 一般の青少年参加者を25人募集する。朝日夕刊(5月24日以降)、関西テレビ(いつか?)で広報してもらう。

③ キャンプの統括者、リーダー(YMCA、朝日、関西テレビから)について。

4. その他

土佐堀YMCA運営委員会から、協力会員のための機関紙「とさぼりライフ」が4月末に創刊されたと、松浦運営委員から報告があった。

YMCA ニュース

大阪YMCA統括本部 浜野 昌保

今月は、年に1度の大阪YMCA会員大会が開催されます。この1年も会員の皆様方のご協力、ご支援、ご奉仕によって多くの成果がありましたことを感謝いたします。今度ともよろしくお願いたします。

★大阪YMCA第6回チャリティーゴルフコンパ

日時：5月12日(水) 8時28分スタート

場所：神戸ロイヤルパインズゴルフ倶楽部

参加費：20,000円

*今回のチャリティーは「聴覚障がい青少年国際キャンプ」への支援にいたします。

★第133回大阪YMCA早天祈祷会

日時：5月21日(金) 7:30～8:30

場所：大阪YMCA会館 10階チャペル ♂

み証 し：工藤義正氏(土佐堀YMCA運営委員)

★大阪YMCA会員大会(維持会員の方はご出席を)

日時：5月29日(土) 15:00～17:00

場所：大阪YMCA会館 2階ホール

内容：1. 報告 2. 議事 3. 会員表彰
4. 会員交流会

問合せ：大阪YMCA TEL06(6441)0894

★田んぼのワークショップ「すずめの学校」

無農薬の田んぼをみんなで作ろう!

日程：6月20日(日)、7月25日(日)

10月17日(日)、11月7日(日)

場所：里山の自然学校「紀泉わいわい村」

TEL0724(85)0661

THE OSAKA CENTENNIAL



ニコニコ・メッセージ



【 Messages from the Club Members 】

ゲストからのメッセージ

○久しぶりにメネット共々出席させて頂きました。活発なYs活動に感銘を受けました。(山中 秀男)

“ごぶさた”メッセージ

○ホノルルにあるマキキ聖域基督教会の創立100周年記念行事に参加のため、欠席します。ハワイ在任中、この教会でアソシエイテッド・メンバーでした。例会のご盛会をお祈り申し上げます。(福永 嘉彦)

会員からのメッセージ

○ミャンマーの実情を知らずにいましたが、写真とお話して大変よく理解できました。(石津 雅人)

○イラクも問題がなかなか解決が困難になってきています。われわれ日本人も、国際紛争にかかわることなく過ごすことができない時代になってきていることを実感しています。(鎌田 史朗)

○ト田ワイズの興味ある良い話を賜りありがとうございました。来月から2~3ヶ月欠席させて頂きます。

(黒田 徹之)

○豊中・ト田ワイズからマンダレー・ヤンゴンYMCAの活動についてお話を聞きました。センテニアルが拠出する10万円(10年間の寄付金)が有効に使われていると聞き、感謝しています。(栗山 圭三)

○ミャンマー事情は大変興味深いものでした。本日は、山中様御夫妻を迎えて大変楽しい時間を過ごせました。

(坂本 千春)

○いつも忙しくしていて、欠席続きでした。今日は久しぶりにきました。ほっとしています。(新保 正秋)

○ミャンマースタディツアーの報告のお話、写真を見せていただきよく理解できました。ありがとうございました。山中さんご夫妻もご出席くださり、楽しい例会でした。

(隅田 恵子)

○久方ぶりに例会に出席することができて感謝です。ミャンマーのお話し有難うございました。

(田中 穰二)

○4月例会は出席者も多く、楽しい例会でした。

(谷川 寛)

○ミャンマーの臨場感あふれるお話し、写真を見ながらツアーに参加したいような気になりました。

(中村 茂高)

○興味深いミャンマーのお話でした。山中メン・メネットお久しぶりです。お顔を見せて頂いて感謝です。

(中村 幸枝)

○1カ月が長く感じられる例会でした。ゲストも見え、黒田メンも出席され、誠に心うれしい限りです。ミャンマーのお話し大変よくわかりました。まさに「百聞は一見にしかず」ですね。4月29日の大文字登山楽しみしております。

(藤原 正巳)

○ミャンマーのお話し、興味深く聞かせて戴きました。緋はがきを見るとタイとちょっと似ているなと思いました。向こうで活動されている様子がよくわかりました。(松浦 和子)

○ト田さん、ミャンマー訪問ご苦労様でした。ご当地ではいろいろ困難な問題もあるようですが、ミャンマーYと大阪Yとは長い歴史があるのですね。

(松浦 孝次)

○ト田さんのミャンマー報告を聞きながら、何年か前に初めて訪問した時のことを思い出しています。

「ヒトセンター」やYMCAのスタッフの人たちのお名前も懐かしいですね。スライドの景色もあまり変化していません。(山田 孝彦)

○センテニアルも、少なからずミャンマーにかかわっていることを再認識しました。ト田さんご報告ありがとうございました。(三浦 直之)

個人消息

○中村隆幸・幸枝夫妻の愛娘 中村圭さん(20歳)が、第二次大戦中の写真家ロバート・キャバにちなんで写真展(神戸市)に8人の大学生とともに出展、4月5日の朝日新聞神戸版に大きく掲載されました。

祖父、すなわち隆幸さんの父の清さん(91歳)の肖像を、祖父が日中戦争に携行していた二眼レフで撮影したそうです。

写真下は、4月第2例会に出席したメンバーが勢ぞろい。久しぶりに永島 軍メン(後列左)が出席し、うれしいことでした。(第5面に記事)



《 編集後記 》

大文字山からみた京都の街は、ちょうどへりに乗って上空から俯瞰した感じで、感動しました。なごやかで、よい運動になった会でした。

(松浦 孝次)